

加太小学校だより



令和5年
5月16日
No.3



<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabuto/>

子ども同士のつながりを大切に

新緑が目鮮やかな季節となりました。今年度が始まって1か月あまりですが、授業中、元気よく「はい」と言って挙手し、前へ出て自分の考えを説明する姿や体育の時間に思い切り運動場を駆け回る姿など子どもたちが頑張っている姿が多く見られます。また、遠足時、バスに乗車する際には、高学年が低学年に対して、「1年生から順番に乗って。」と低学年を優先させたり、北在家の畑まで1・2年生が一緒に2列で歩道を歩いている時には、2年生が自然と道路側を歩き、1年生を内側にしようとしたりするなど、上級生の下級生を気遣う姿も見られます。

今後も子ども同士のつながりを大切に、思いやりのある言動が自然にできるような仲間づくりを行っていきます。



人の話を最後までしっかりと聞き、自分の思いや考えを話そう

生活や社会環境が大きく変化してきた現在、子どもたちの様子を見ていると、物言わずとも大人がしてくれる、テレビが一方向的にしゃべっているなど、受け身的な状況が多くなり、子どもから正しく状況を話す言葉や技能を奪ったり、言葉のキャッチボールをする楽しさを見失わせたりしているのではないかと思うことがあります。

学校で教える内容を示した学習指導要領では、言葉を使って「説明しよう」「伝え合おう」「討論しよう」などと、各教科で言語活動を充実するようになっていきます。そこで、学校では、授業中、自分の意見を発表したり、説明したりすること、相手の話を聞いて、それに対してつなげて自分の思いや考えを話すことなど、子どもたち同士で豊かな対話ができることを目指して取り組んでいます。現在は、ペアやグループで話し合うことも多く取り入れながら、「話し手の方を向いて最後まで静かに聞くこと」「うなずきながら聞くこと」「みんなに聞こえるような声の大きさでみんなの方を向いて話すこと」など、聞き方、話し方の基本を全学年で指導しています。



ふるさと学習へのご協力ありがとうございます



今年度も保護者や地域の皆様にお世話になりながら、ふるさと学習として「さつまいもや梅、もち米、自然薯」の生産体験活動や加太の歴史や文化を学ぶ学習活動を行います。1学期には食につながる生産体験活動として、北在家の畑で6年生が自然薯、1・2年生がさつまいもの植え付けをしました。また、田んぼ活動として5・6年生が水路探検や畔塗りをし、全児童と園児で田植えを行いました。

このようなふるさと学習を通して、子どもたちは、農作物を育てるための苦労や大変さとともに、長年の経験から生み出された知恵や工夫、収穫して食べることの喜びを体感します。そして、そこから生まれる疑問や考えを学習につなげ、学びを深めていきます。そして、その体験を通して生きる力や「ふるさと加太」への愛着を育てていきます。このような機会を作ってくださいる地域や保護者の方々の多大なご協力に厚く感謝します。

6年生による自然薯の植え付け



自然薯がこの後、どのように育っていくかお話を聞きました。

1・2年生によるサツマイモの植え付け



植え付けが終わった後、サツマイモについてたくさん質問し、詳しく教えてもらいました。

地域の方の話をしっかりと聞いています。

5・6年生による畔塗り



田植えの前の畔塗りです。畔をしっかりと固めて作っておく効果も教えてもらいました。

全校児童と園児による田植え



4年ぶりのどろんこ集会



折り返しリレー、ドッジボールをみんなですました。そして、最後にダビングをして楽しみました。